**エビ**

**Mud lobster / *Thalassina anomala* / Okinawa anajako / オキナワアナジャコ**
固有種のエビであり、小型のロブスターに似ているが、ザリガニに近い。体長は30cmにもなるが、主に16～20cmほどになる。体の色は薄茶、濃茶、緑とさまざまである。巣作りが特徴的で、2mの深さまでマングローブ周辺の堆積物を掘って作る。掘り出した土や砂は塚のように積み上げられ、高さ1m以上にもなることもある。オキナワアナジャコは夜行性で、日中はほとんど巣の中で過ごす。深い土壌から有機物を地表に出し、掘り出した部分に潮流が流れ込むようにしてマングローブの生態系において重要な役割を果たしている。英語ではscorpion mud lobsterとも呼ばれる。

**Crane river prawn / Macrobrachium formosense / Minami tenaga-ebi / ミナミテナガエビ**
淡水性だが、ある程度耐塩性があるとされていて奄美大島の川やマングローブに生息するエビである。体長は最大10cmで、体の色は様々で、灰色やオリーブ、茶色、濃い赤茶などもいる。ミナミテナガエビの和名は見た目からの由来である。